理事長挨拶

学校法人　加 計 学 園
理事長・総長　　加計　役

現在、本学園が、将来にわたって圧倒的に「選ばれる学園」 であり続けるために、「組織の構造改革」、「教育・研究」、「キャリア・就職」、「広報」、「財務」の 5 本柱を重点項目として掲げ、新たな時代に対応した教育への転換、 国際化から多様化への転換などに積極的に取り組んでいます。中央教育審議会の「知の総和」答申では、真に人が果たすべきことを果たせる力と協働しながら課題を発見し解決に導く人材の育成を、さらに私立大学においては、建学の精神に基づく多様性に富んだ教育研究の実施をするため、意欲的な教育・経営改革や連携を通じた機能強化と規模適正化の推進が求められています。本学園では、昨年度末に千葉科学大学と千葉科学大学附属高等学校を設置者変更により事業譲渡を行い組織のスリム化・健全化を図りました。今年度は設置校の教育の質向上を図りつつ、第２期中期計画の最終年度となるため評価と検証により第３期中期計画の策定に着手して参ります。

岡山理科大学においては、THE 世界大学ランキングに２年連続でランクインされた実績をもとに、世界中に開かれた大学として留学生の受け入れ、海外企業・大学との連携強化を図り、ＡＩや半導体など世界の成長産業を支えていく人材の育成を図ります。また、中教審答申にもある“人が果たすべきことを果たす力”の育成に取り組むべく、岡山理科大学においては理学、工学、情報系の教育研究資源を基に新たな教育プログラムを構築し、倉敷芸術科学大学ではＡ＆Ｓ教育により“人にしかない感性”に磨きをかける教育を展開していきます。

附属高等学校、附属中学校、こども園の各校については、学園の教育資源を活用した質の高い教育を提供し、ひとりひとりが成長を実感できる学校づくりを進めていきます。専門学校においては、社会が求める専門職業人の育成に取り組みます。

地域社会との連携においては、全ての設置校において、PBL や探求活動を通して、地域社会の課題解決を図り、その発展に寄与して参ります。また、スポーツ分野においても、スポーツを通じた人間形成に取り組むと同時に、地域社会との交流の輪を広げ、地域活性化に寄与して参ります。

法人経営としては、これらの教育研究を支えるべく第３期中期計画に予算計画を連動させ教職員が重点施策を共有し、教職協働で教育改革と財務改善に注力し、５０年先を見据えた財務基盤とガバナンスの強化に取り組んで参ります。